

めいしん めいはん れんらく どう ろ
名神名阪連絡道路
有識者委員会(第2回)

令和6年11月20日(水)

滋賀県 道路整備課・三重県 道路企画課

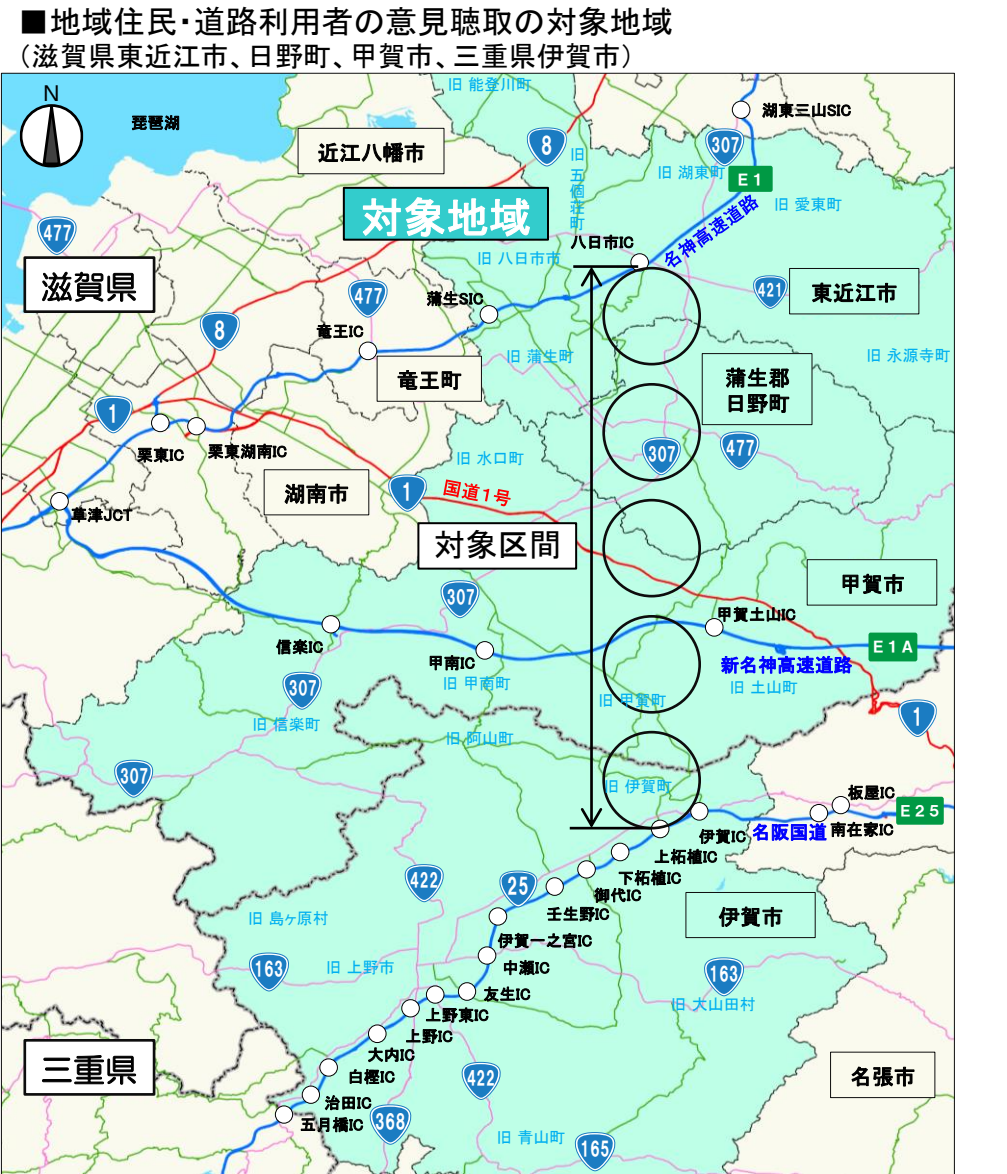
1. 第1回意見聴取の結果	・ ・ ・ 2
1-1. 第1回意見聴取概要	
1-2. 調査票による意見聴取結果	
1-3. 関係団体への意見聴取結果	
1-4. 第1回意見聴取結果まとめ	
2. 早期の効果発現に向けた提案	・ ・ ・ 20
2-1. 地域特性	
2-2. 対象地域の道路交通状況	
2-3. 高規格道路を取り巻く社会情勢	
3. 今後の進め方（予定）	・ ・ ・ 34

1. 第1回意見聴取の結果

- 第1回意見聴取期間は、令和5年1月12日(木)～令和5年2月19日(日)。
- 地域住民、道路利用者、関係団体、周辺自治体を対象にアンケートを実施。

- 意見聴取期間
令和5年1月12日(木)～令和5年2月19日(日)
- 意見聴取の対象と実施方法

意見聴取・照会	対象	実施方法
■ 地域住民・道路利用者	○ 東近江市 ○ 日野町 ○ 甲賀市 ○ 伊賀市	○ 住民説明会 ○ オープンハウス ○ 県HPによるWEBアンケート ○ 自治体窓口での留置きアンケート
■ 関係団体	○ 観光協会【12団体】 ○ 商工会【10団体】 ○ 農林団体【6団体】 ○ 運送団体【5団体】 ○ 警察機関【5団体】 ○ 消防機関【2団体】 計 40団体	○ 郵送配布・回収
■ 周辺自治体	○ 東近江市 ○ 日野町 ○ 甲賀市 ○ 伊賀市 ○ 近江八幡市 ○ 名張市 ○ 湖南市 ○ 竜王町 計 8自治体	○ 郵送配布・回収



- ・調査票による意見聴取の全回収数は2,584部。
- ・関係団体への意見聴取は40団体、周辺自治体への意見照会は8自治体にそれぞれ実施した。

■調査票による意見聴取の回収数

調査形式	回収数			
	配布数	回収数	回収率	計
住民説明会	254部	238部	93.7%	2,584部
オープンハウス	—	1,003部	—	
WEBアンケート	—	798部	—	
自治体窓口での 留置きアンケート	—	545部	—	

・意見聴取開催地別回収数 ※いずれも令和5年開催

○住民説明会

開催日	開催地		回収数
1月13日(金)	滋賀県甲賀市	土山開発センター	39
1月16日(月)	滋賀県東近江市	あかね文化ホール大ホール	39
1月26日(木)	滋賀県甲賀市	かふか生涯学習館2階 研修室	47
1月31日(火)	滋賀県東近江市	八日市文芸会館大ホール	22
2月3日(金)	滋賀県日野町	日野町林業センター	39
2月10日(金)	三重県伊賀市	ふるさと会館いが小ホール	52
計			238

土山開発センター(令和5年1月13日)



ふるさと会館いが(令和5年2月10日)

■関係団体への意見聴取の回収数

実施団体	小計	回収数
観光協会	12団体	40団体
商工会	10団体	
農林団体	6団体	
運送団体	5団体	
警察機関	5団体	
消防機関	2団体	

○オープンハウス

開催日	場 所		回収数
1月14日(土)	滋賀県日野町	セブン-イレブン 滋賀日野高校前店	45
	滋賀県甲賀市(旧土山町)	道の駅 あいの土山	101
1月18日(水)	滋賀県東近江市(旧愛東町)	道の駅 あいとうマーガレットステーション	57
	滋賀県東近江市(旧八日市市)	黒丸PA	55
1月20日(金)	滋賀県甲賀市(旧土山町)	道の駅 あいの土山	80
	滋賀県日野町	セブン-イレブン 滋賀日野高校前店	40
1月22日(日)	滋賀県甲賀市(旧土山町)	土山SA	188
	三重県伊賀市	道の駅 いが	102
1月30日(月)	三重県伊賀市	道の駅 いが	88
	滋賀県甲賀市(旧土山町)	土山SA	98
2月5日(日)	滋賀県東近江市(旧愛東町)	道の駅 あいとうマーガレットステーション	92
	滋賀県東近江市(旧八日市市)	黒丸PA	57
計			1,003



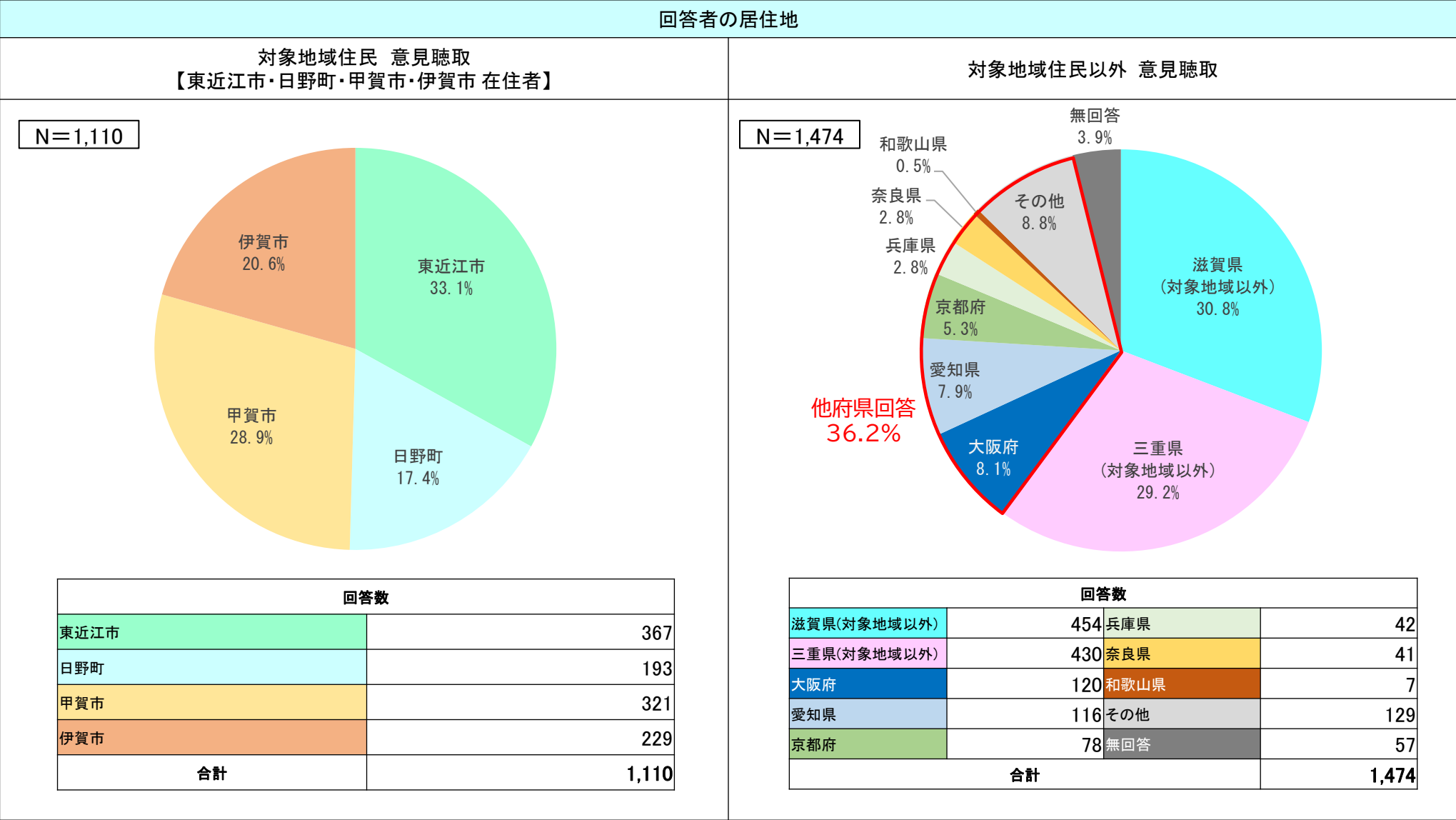
あいの土山(令和5年1月14日)



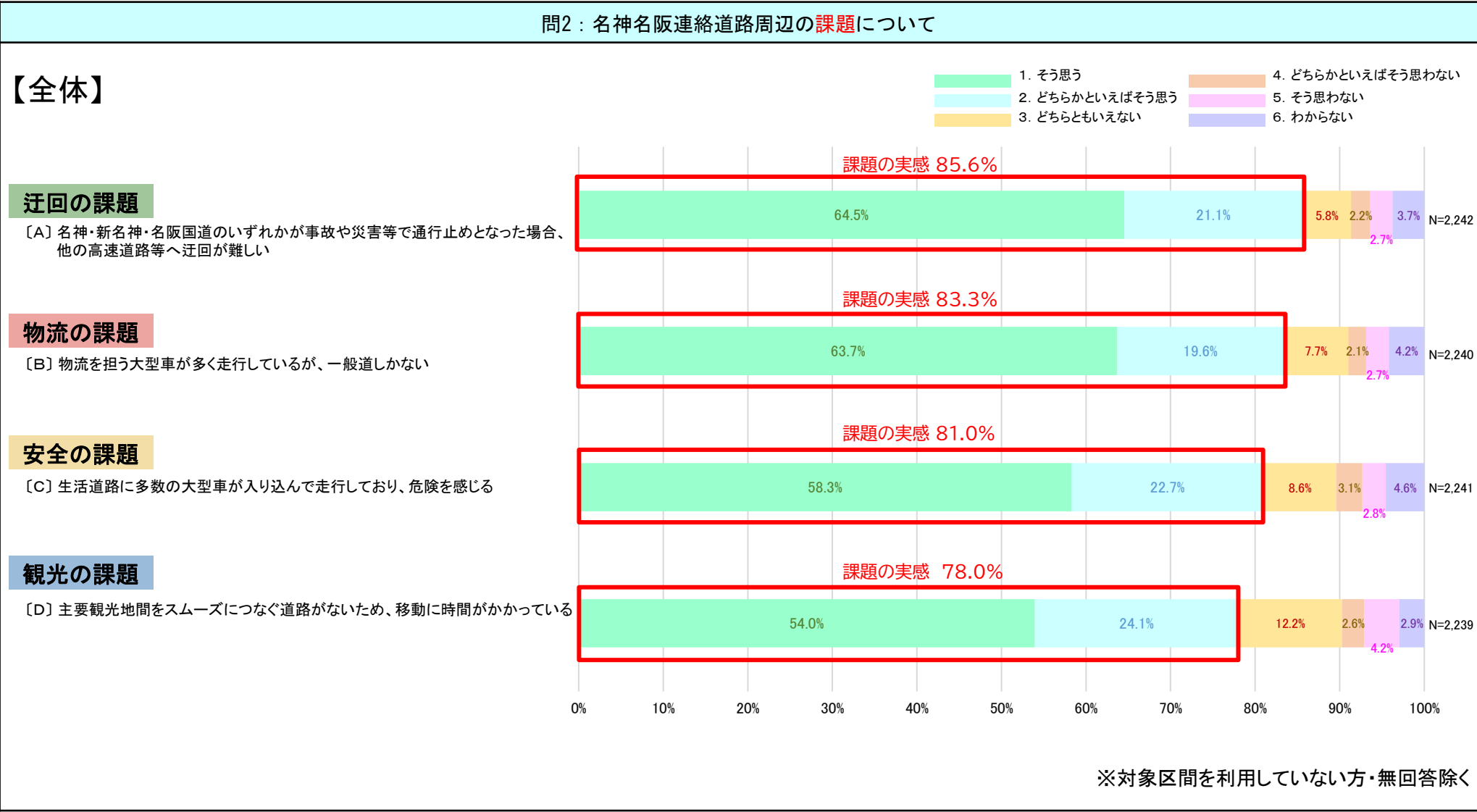
■周辺自治体への意見照会の回収数

実施団体	回収数
東近江市	8自治体
日野町	
甲賀市	
伊賀市	
近江八幡市	
名張市	
湖南市	
竜王町	

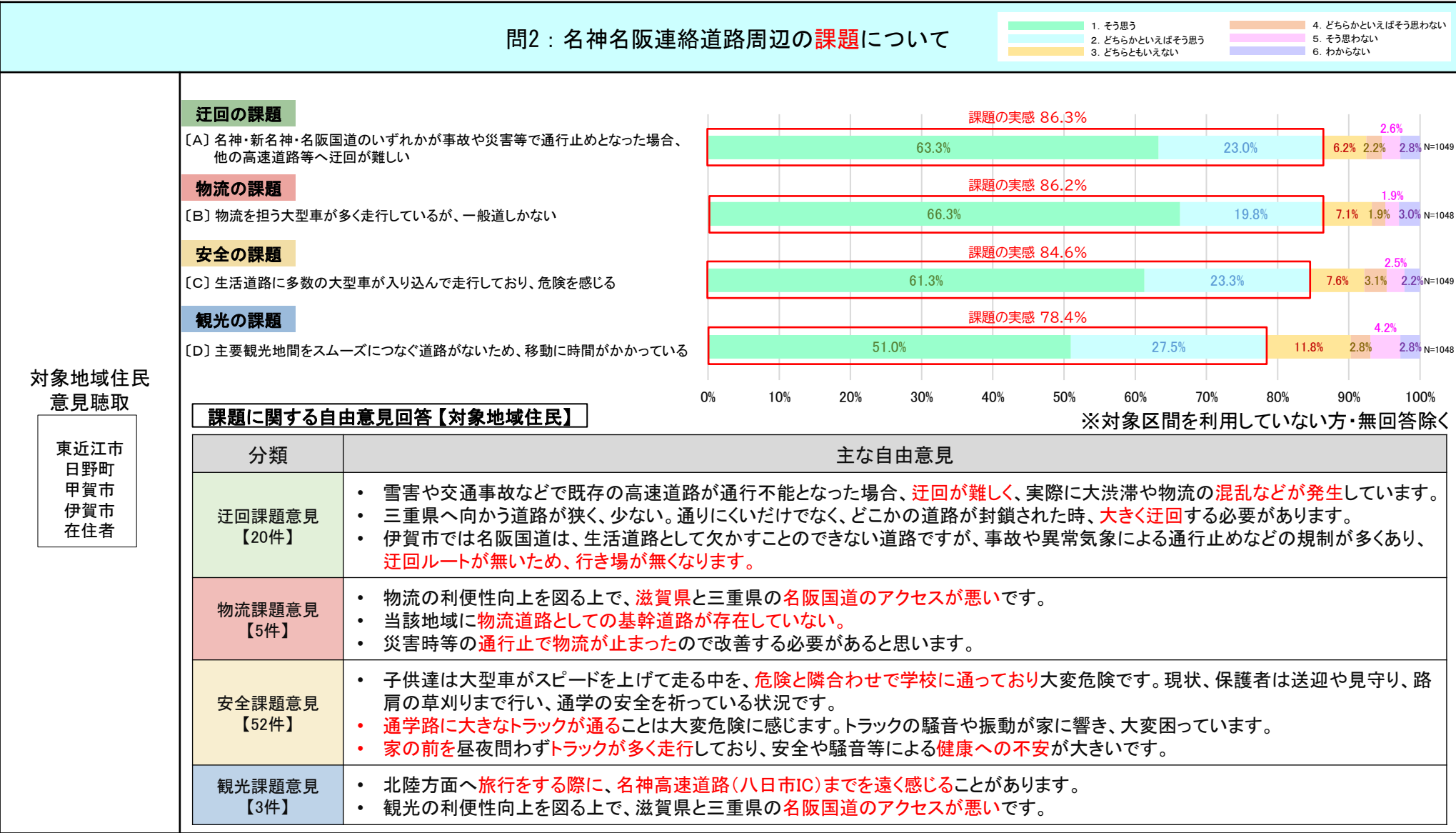
- 全回答(2,584部)のうち、対象地域住民の回答は1,110部、対象地域住民以外の回答は1,474部。
- 対象地域住民以外の方の居住地は、他府県が36.2%を占めた。



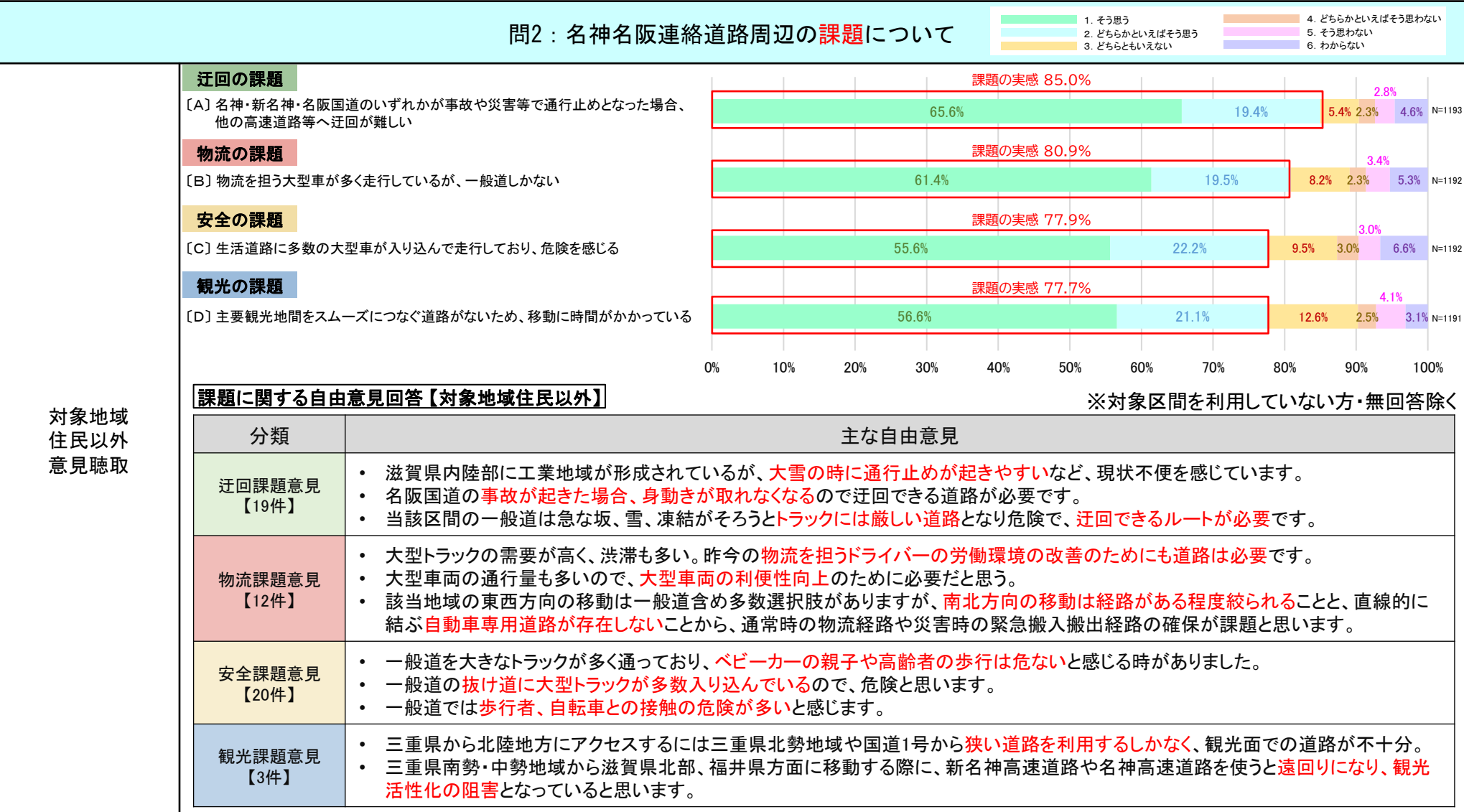
- 多くの回答者は名神名阪連絡道路周辺の4つの課題いずれについても実感している。
- 「迂回の課題」、「物流の課題」、「安全の課題」を実感している割合が特に大きい(8割超)。



- 対象地域住民は、「迂回の課題」、「物流の課題」、「安全の課題」を実感している割合が特に大きい(8割超)。
- 自由意見では、大型車が生活道路に流入している等の「安全の課題」に関する意見が特に多い。



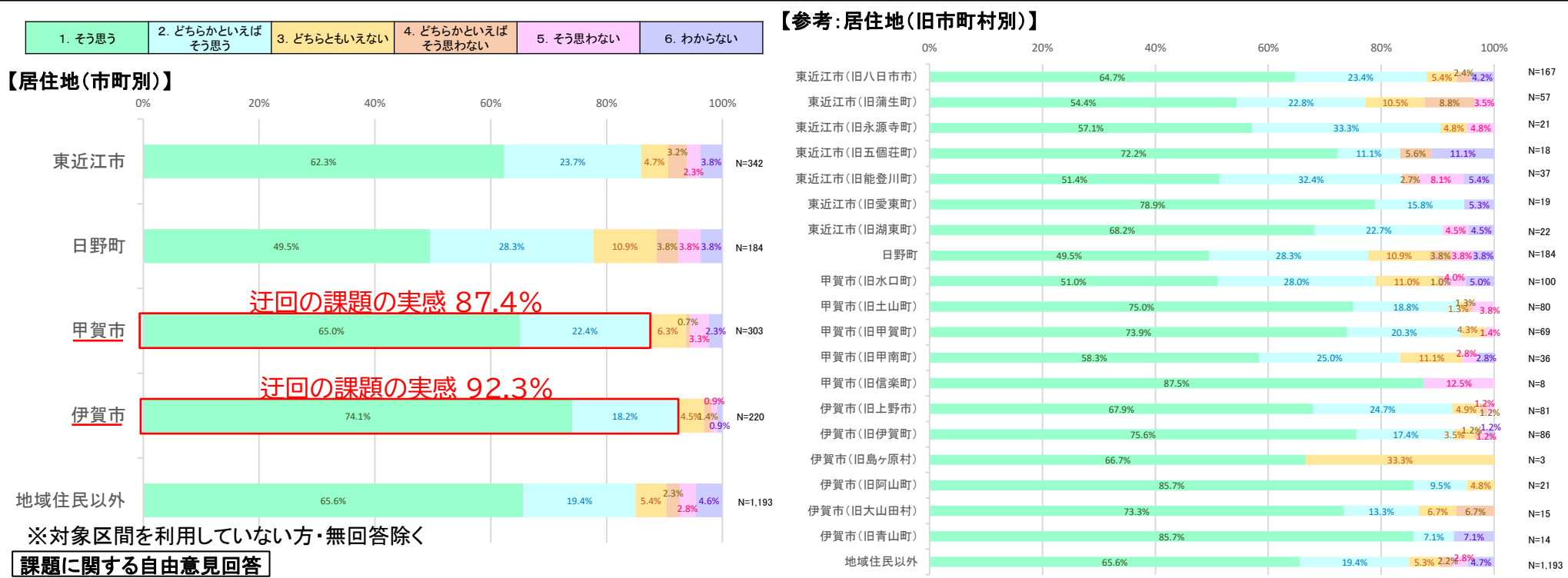
- 対象地域住民以外は、「迂回の課題」、「物流の課題」を実感している割合が特に大きい(8割超)。
- 自由意見では、災害時に迂回できる道路が不足しているという「迂回の課題」や、大型車の走行に適した道路が不足しているという「物流の課題」に関する意見が多く寄せられた。



1-2. 調査票による意見聴取結果(クロス集計:課題(迂回)×居住地)

- ・居住地別では、伊賀市在住の方が、「迂回の課題」を実感している割合が最も大きい(9割超)。
- ・自由意見では、地域の生活道路の役割も担っている名阪国道の通行止めに関する意見が寄せられた。

問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について
【迂回】名神・新名神・名阪国道のいずれかが事故や災害で通行止めとなった場合、他の高速道路等への迂回が難しい



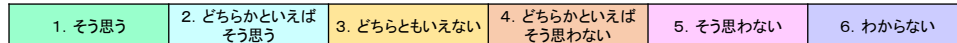
分類		主な自由意見
迂回課題意見 【20件】	対象地域住民	・ 名阪国道が通行止めになった際の下道の渋滞を考えると連絡道路は必要、早期に進めてほしい ・ 伊賀市民の重要な生活道路である名阪国道は、通行止等が多くある為、新名神や名神へのアクセスする新しい道路の必要性は強く考えておりますので、早期の事業着手を願います。
	対象地域住民以外	・ 名阪上柘植付近は急な坂、雪、凍結がそうとトラックには厳しい道路となり危険です。高規格な道路で、その部分を迂回できるといいと思います。

1-2. 調査票による意見聴取結果（クロス集計：課題（迂回）×利用頻度、課題（迂回）×利用目的）10

- ・利用頻度別では、月1回以上利用する方は、「迂回の課題」を実感している傾向がある。
- ・利用目的別でも、「通勤・通学」、「仕事（営業・運送等）」など日常的に利用する方が「迂回の課題」を実感している傾向がある。

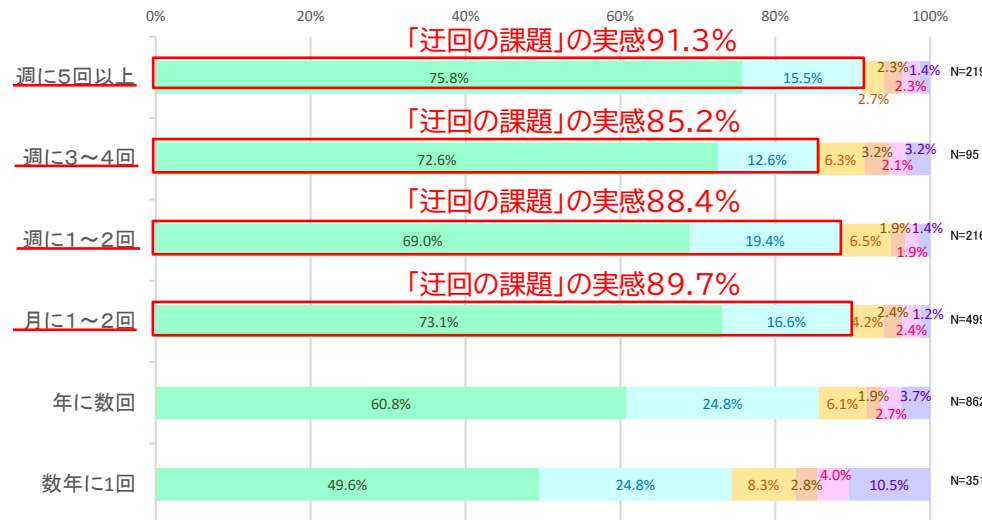
問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について

【迂回】名神・新名神・名阪国道のいずれかが事故や災害で通行止めとなった場合、他の高速道路等への迂回が難しい



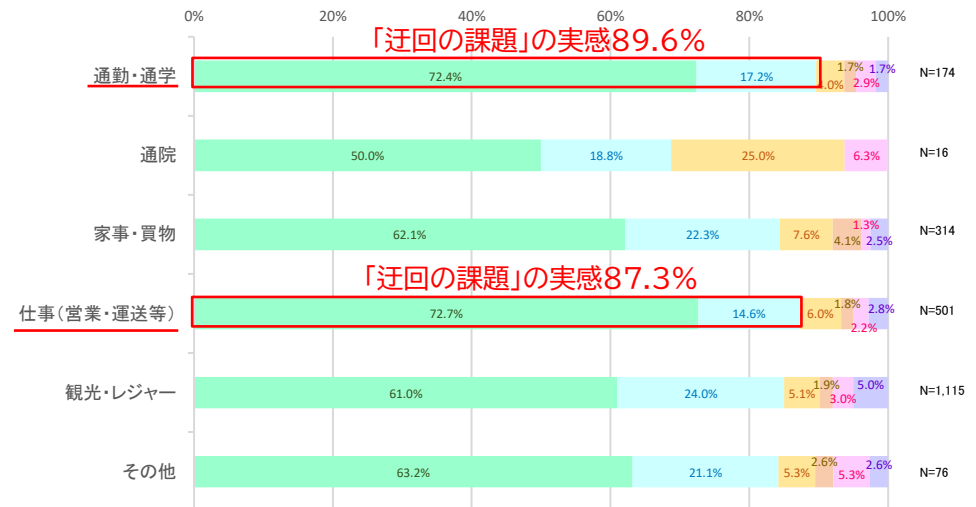
【利用頻度別】

「日常的な道路利用者が、特に迂回の課題を実感



【利用目的別】

「通勤・通学」「仕事（営業・運送等）」での利用者が特に迂回の課題を実感

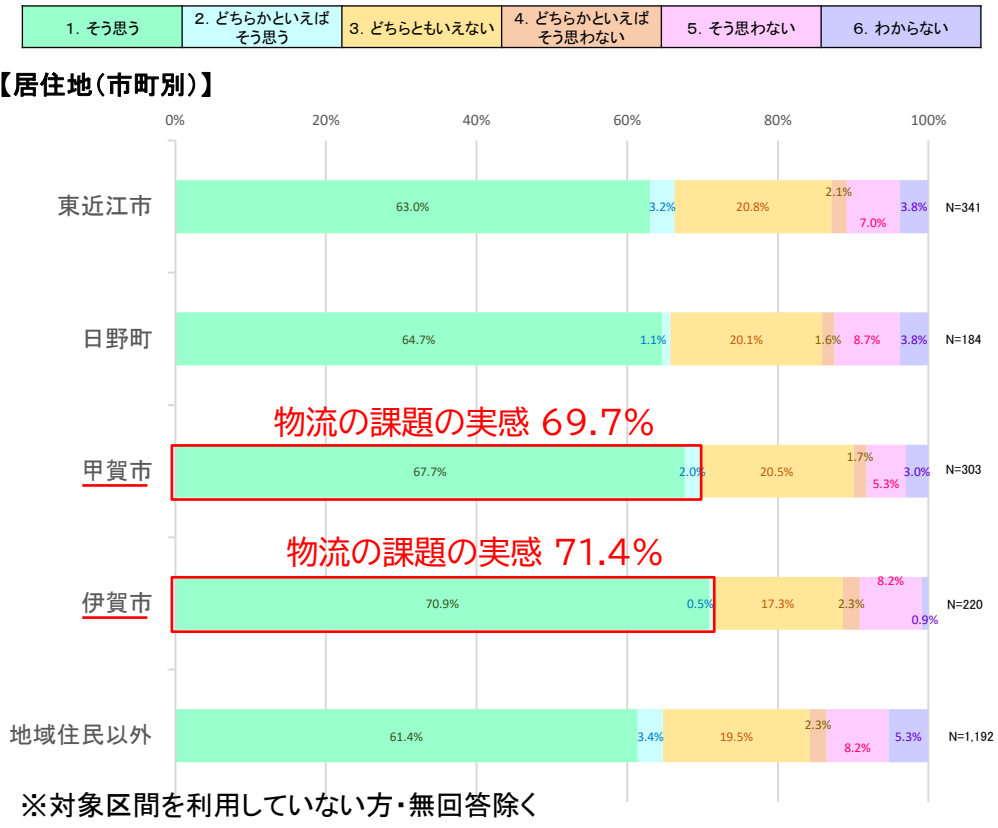


※対象区間を利用していない方・無回答除く

1-2. 調査票による意見聴取結果（クロス集計：課題（物流）×居住地）

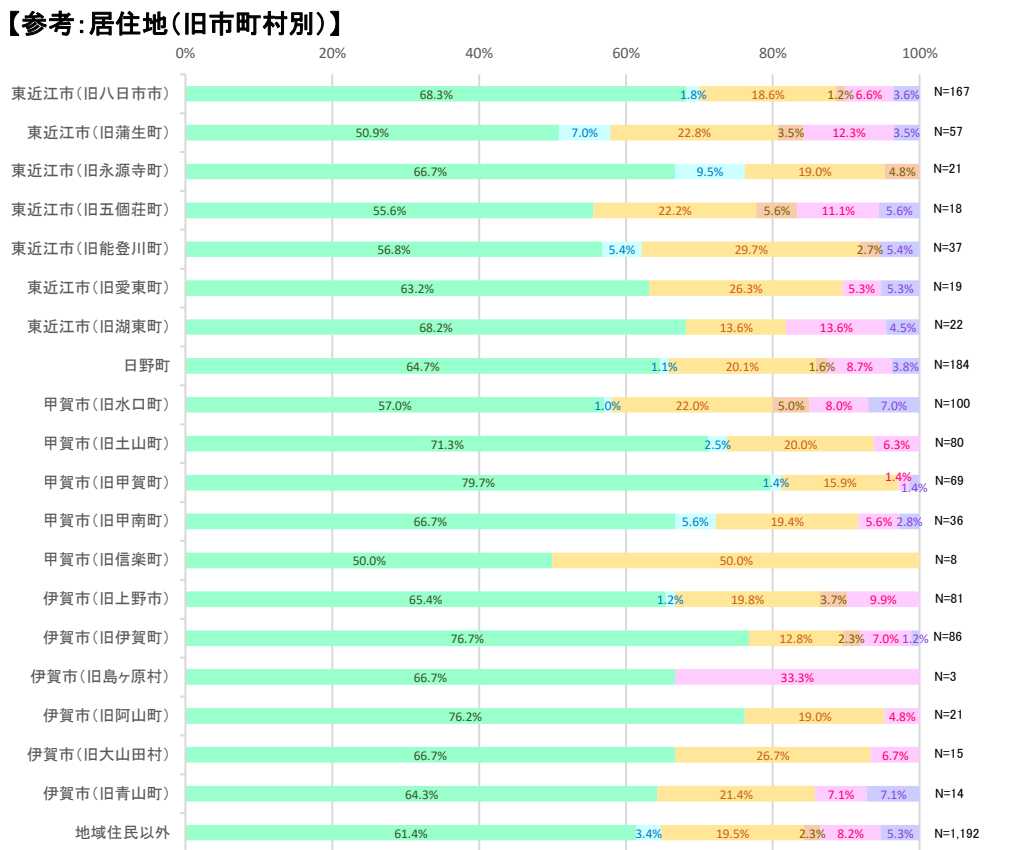
- 居住地別では、甲賀市・伊賀市在住の方が、「物流の課題」を実感している傾向がある。
- 自由意見では、対象地域に物流車両の走行に適した幹線道路がないことに関する意見が寄せられた。

問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について
【物流】物流を担う大型車が多く走行しているが、一般道しかない



物流の課題の実感 69.7%

物流の課題の実感 71.4%



課題に関する自由意見回答【対象地域住民】

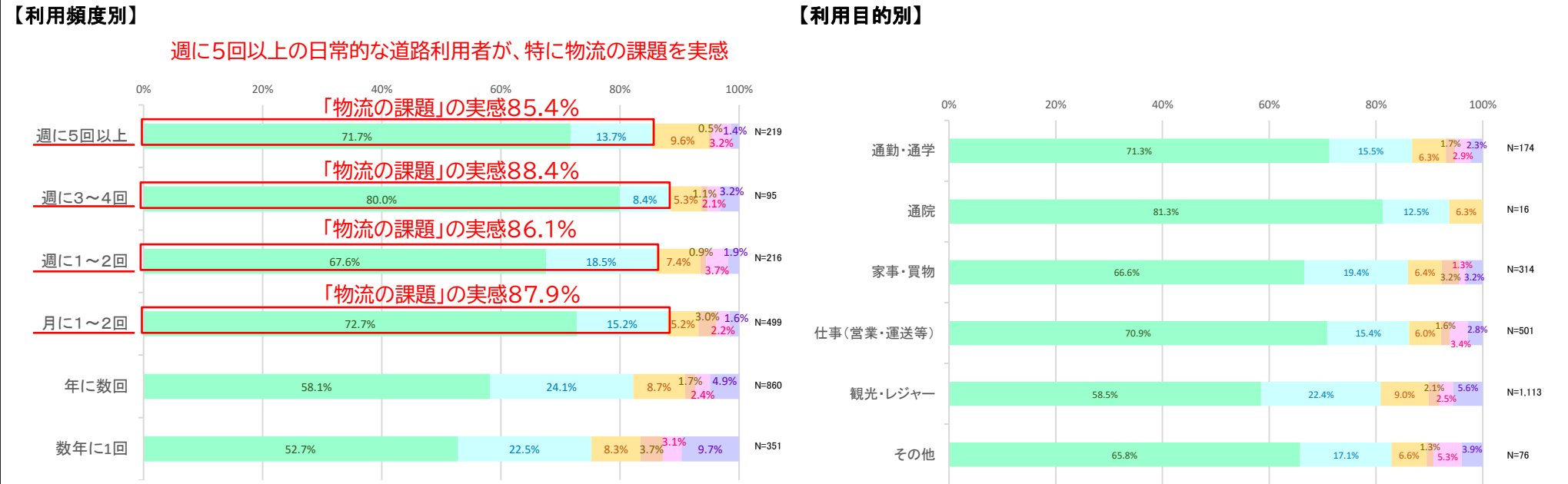
分類	主な自由意見
物流課題意見【5件】	• 物流の利便性向上を図る上で、滋賀県と三重県の名阪国道のアクセスが悪いです。 • 当該地域に物流道路としての基幹道路が存在していない。 • 災害時等の通行止で物流が止まったので改善する必要があると思います。

1-2.調査票による意見聴取結果（クロス集計：課題（物流）×利用頻度、課題（物流）×利用目的） 12

・月1回以上利用する方は、「物流の課題」を実感している傾向がある。

問 2：名神名阪連絡道路周辺の課題について
【物流】物流を担う大型車が多く走行しているが、一般道しかない

1. そう思う
2. どちらかといえば
そう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば
そう思わない
5. そう思わない
6. わからない



※対象区間を利用していない方・無回答除く

- ・居住地別では伊賀市、甲賀市に在住の方が「安全の課題」を実感している傾向がある。
- ・自由意見では、県道草津伊賀線の一部は通学路に指定されているが、大型車の通行が多いことに課題を感じている意見が寄せられた。

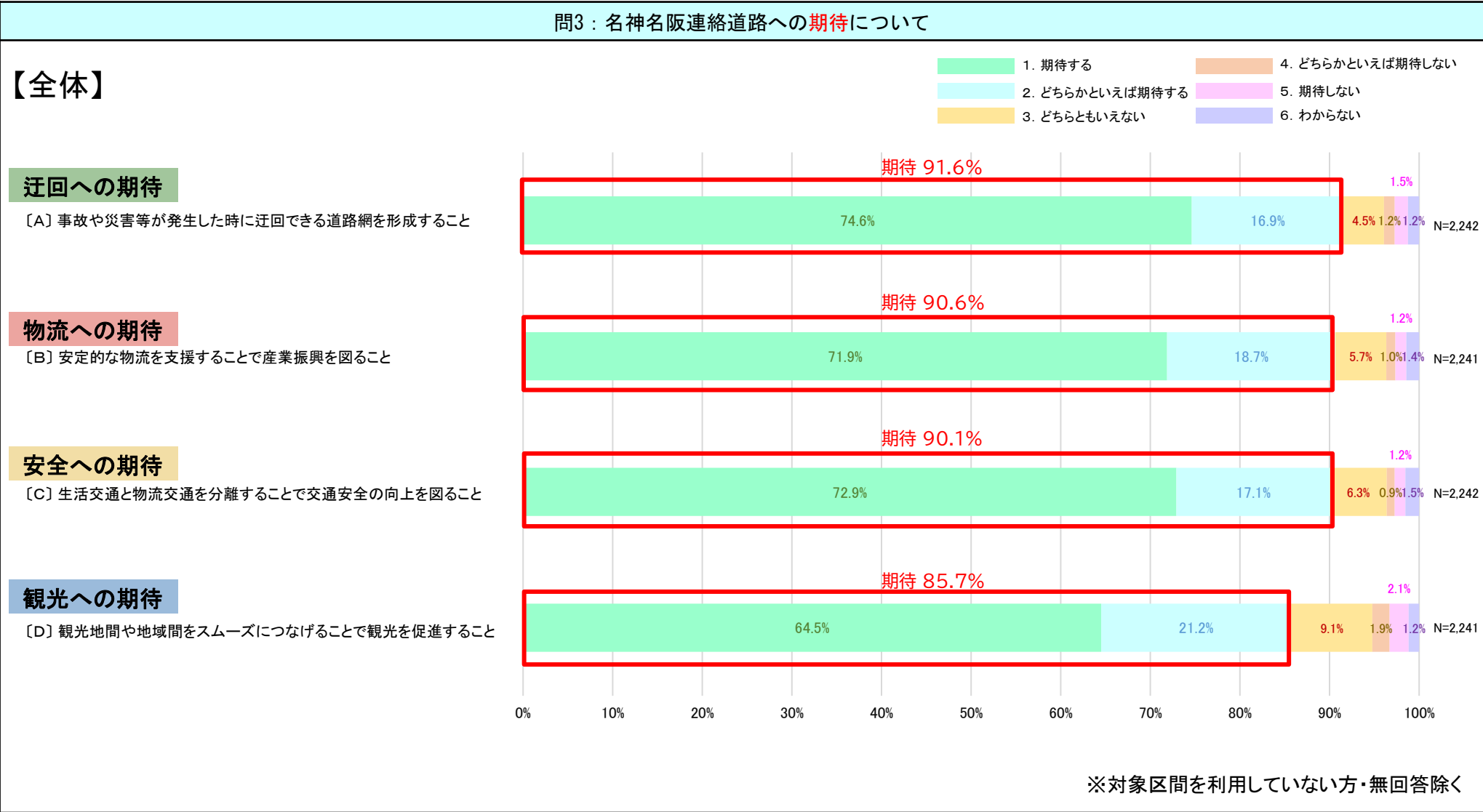
問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について

【安全】生活道路に大型車が入り込んで走行しており、危険を感じる

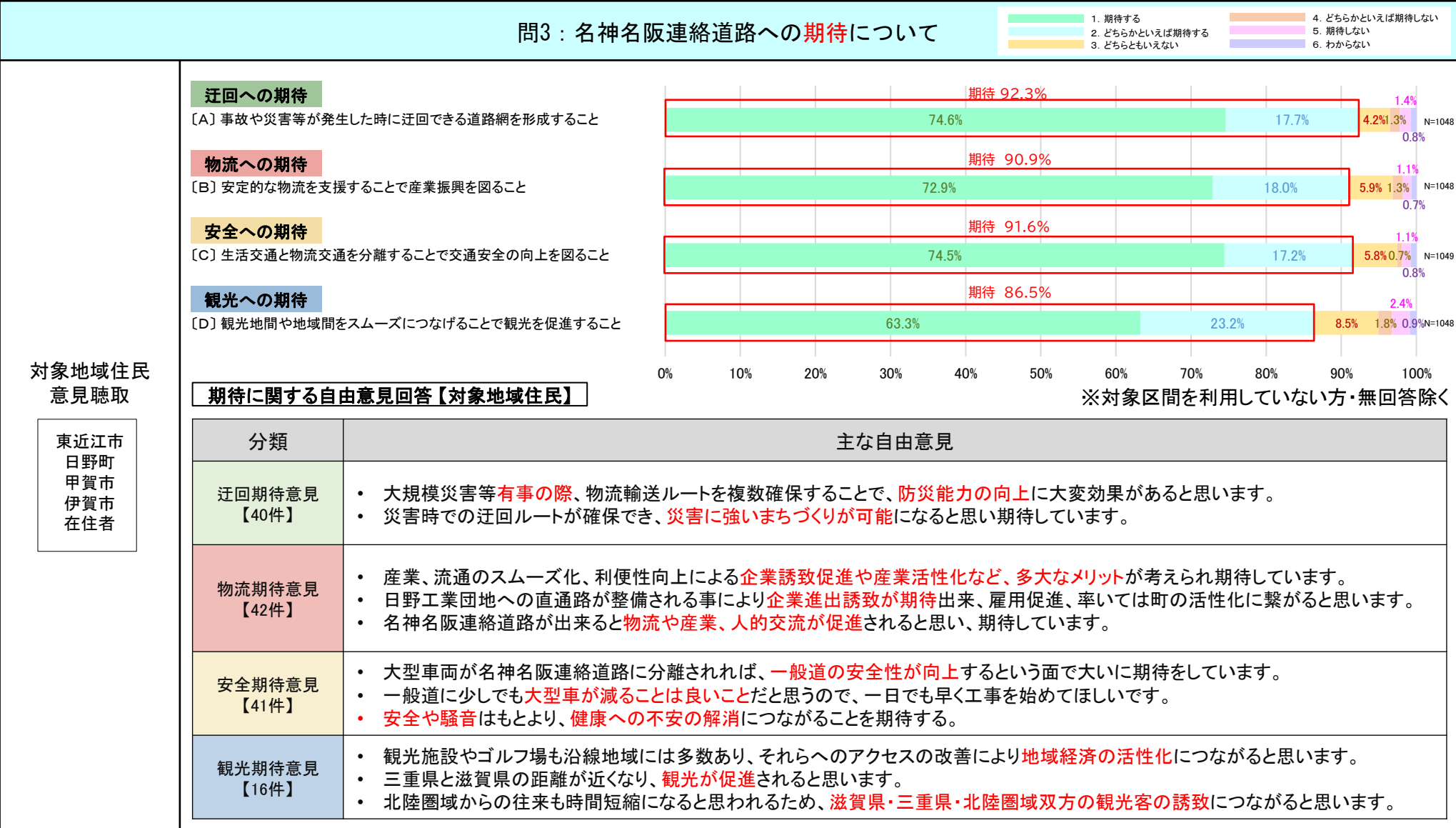


分類	主な自由意見
安全課題意見 【52件】	・ 名阪国道上柘植ICから余野公園までの区間は住宅、子どもの通学など生活道路であり、また道路状況も起伏高低差も大きく、道路幅の狭い所もある為危険。周辺の生活をおびやかす道路なので専用道路を早く作ってほしい。(旧伊賀町居住者) ・ 生活の安全面を考えると、土山～上柘植間の方が重要に感じる。(旧甲賀町居住者) ・ 県道4号線の車両が多く、道路の横断や車での4号線への侵入に日常的に困っています。大型車両が連絡道路にいけば安全という面で、大いに期待をしています。(旧伊賀町居住者)

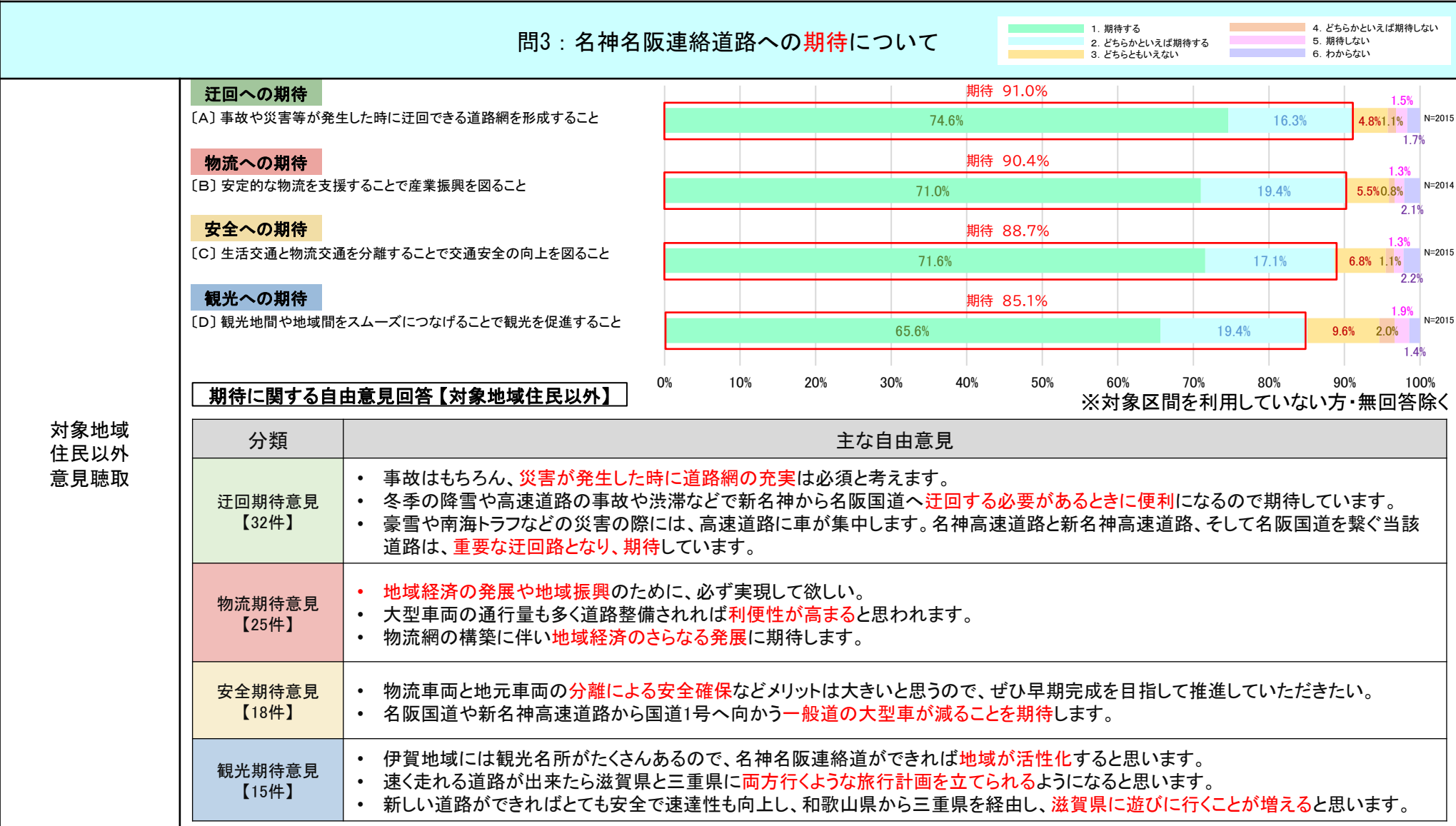
- ・回答者の大半が名神名阪連絡道路の実現に期待している。
- ・「迂回への期待」、「物流への期待」、「安全への期待」を持っている方が特に多い(9割超)。



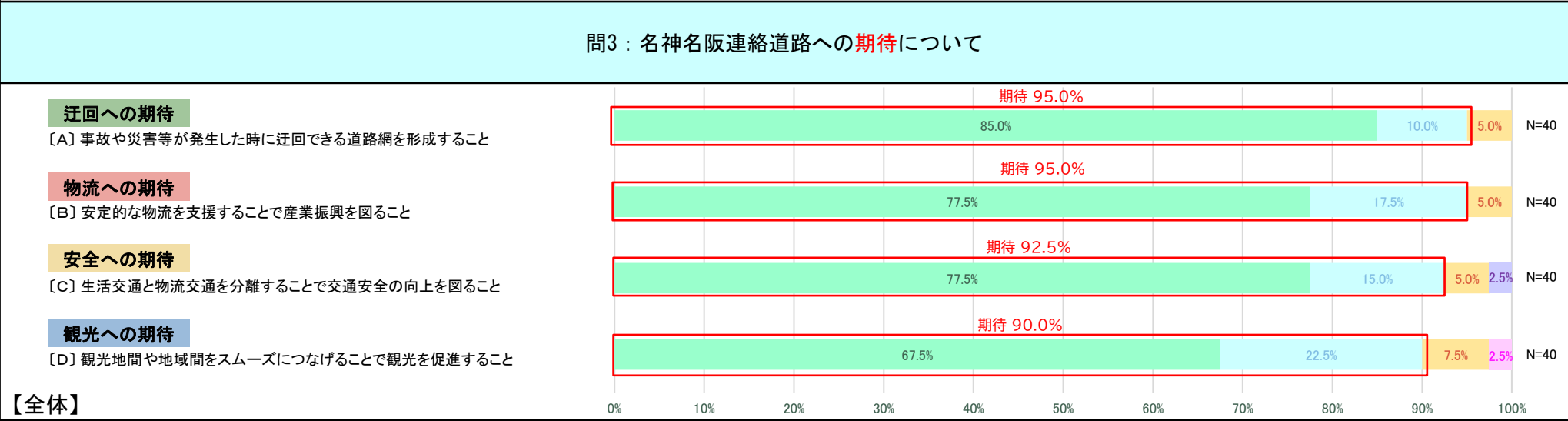
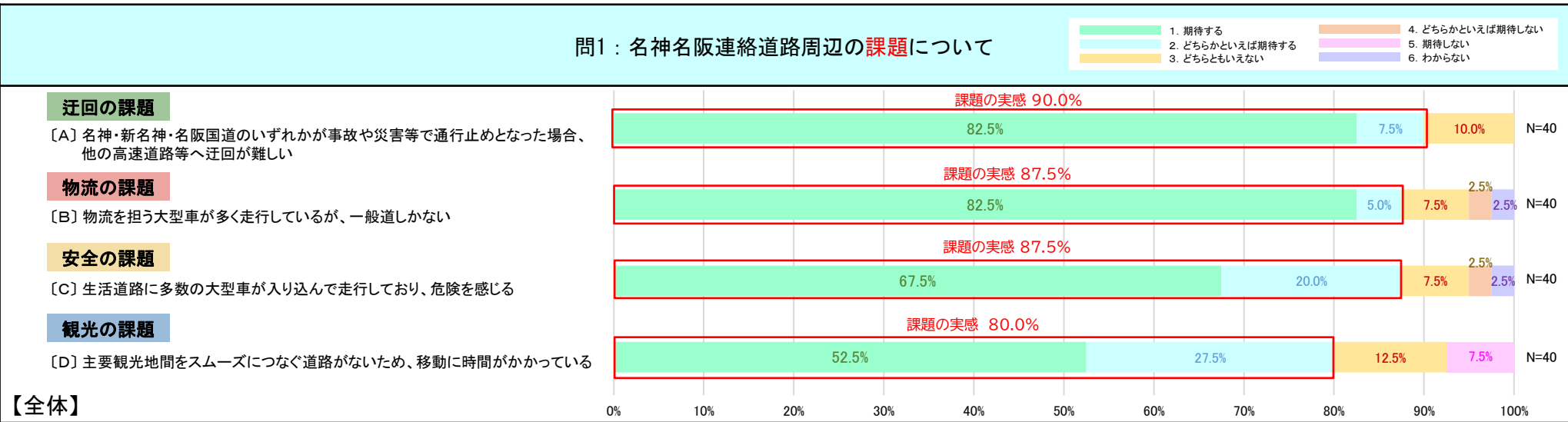
・「迂回への期待」、「物流への期待」、「安全への期待」を持っている方が特に多い(9割超)。
・自由意見では、災害に強いまちや産業活性化、一般道の交通安全など、幅広い観点での期待が寄せられている。



- 「迂回への期待」、「物流への期待」、「安全への期待」を持っている方が特に多い。
- 自由意見では、地域住民と同様に地域経済の発展や一般道の交通安全につながると期待する意見が寄せられている。



- ・関係団体の大半が、名神名阪連絡道路周辺の4つの課題いずれについても実感している。特に、「迂回の課題」、「物流の課題」、「安全の課題」を実感している関係団体が多い(8割超)。
- ・関係団体の大半が、名神名阪連絡道路の実現に期待している。特に、「迂回への期待」、「物流への期待」、「安全への期待」を持っている関係団体が多い(9割超)。



- ・関係団体の自由意見では「整備時期」に関するものが多く、早期開通を求める声が多かった。
- ・次いで、「安全」に関する意見が多かった。

自由意見	
分類	関係団体への意見聴取における主な自由意見
迂回に関する意見【2件】	・大雪など災害時に交通渋滞などの障害に対応できるように、連絡道路は必要と考えます。(三重県の運送団体) ・リダンダンシーの確保と合わせて国土強靱化の施策も叶うものであることから、早期に完成させて頂きたい。(三重県の運送団体)
物流に関する意見【2件】	・物流・人流・観光振興の面からも費用対効果は絶大。(三重県の運送団体) ・幹線道路ネットワークが拡充されることで、地方部における広域的な医療サービスの享受、工場誘致等による経済活性化についても望める。(滋賀県の警察機関)
安全に関する意見【3件】	・歩道未整備の道路が大半であり、歩行者や自転車の利用が多い生活道路であることから、大型車両を中心とした通過交通の分離を図って安全を確保するために「名神名阪連絡道路」の早期整備が切望されます。(滋賀県の警察機関) ・名神名阪連絡道ができることによって安定的な物流及び交通安全の向上を図れることから早急に建設着手していただくことを望みます。(三重県の商工会) ・道路整備が行われることにより、より一層の地域活性化を安全な道路確保につながることを期待します。(滋賀県の消防機関)
観光に関する意見【1件】	・現状として、名張市から名神へ向かうルートを観光案内するときにはどのルートを推奨するのがよいか自体が不明確であるのが実情です。観光協会役員の間では、国道・県道の整備状況について県内自治体間で格差が大きすぎることが不公平であるとの意見が大勢です。今回の道路整備が、名張市からの利便性が明確に向上することを前提に回答しています。(三重県の観光協会)
道路整備(新規)に関する意見【2件】	・雪寒時には。国道307号上における大型車のスタックが多数発生し、交通の安全、円滑に大きな影響を及ぼしたことから、雪寒時においても安定的に対象区間を通行できる連絡道路の構築を期待します。(滋賀県の警察機関) ・事故や災害発生、生活道路の安全性、地域間の利便性を考えると、連絡道路は必要である。(滋賀県の消防機関)
道路整備(既存)に関する意見【1件】	・名神名阪連絡道路に接続する周辺道路の整備も合わせて推進願います。(滋賀県の警察機関)
整備時期に関する意見【4件】	・有料道路でも良いので早期に開通させて欲しい。(滋賀県の商工会) ・ルートにこだわらず早期に手続きを進めていただき、なるべく早い交通開始を望みます。(滋賀県の農林団体) ・名神名阪連絡道路が早期に整備されることを大いに期待しております。(滋賀県の商工会) ・防災、物流、交通安全、観光など、多方面に必要性の高い道路であり、早期着手早期完成を期待します。(三重県の商工会)
その他【1件】	・インター周辺地域の都市計画区域の見直しも県にお願いしたい。(滋賀県の農林団体)

- 対象地域の住民以外は、**迂回**、**物流**の課題を実感。
- 対象地域の住民では、**迂回**、**物流**の課題に加え、**安全**の課題も実感。
- 特に、甲賀市、伊賀市域で、**迂回**、**物流**、**安全**の課題を実感している住民が多い。
- また、自由意見には、早期に整備してほしいとの意見が寄せられた。

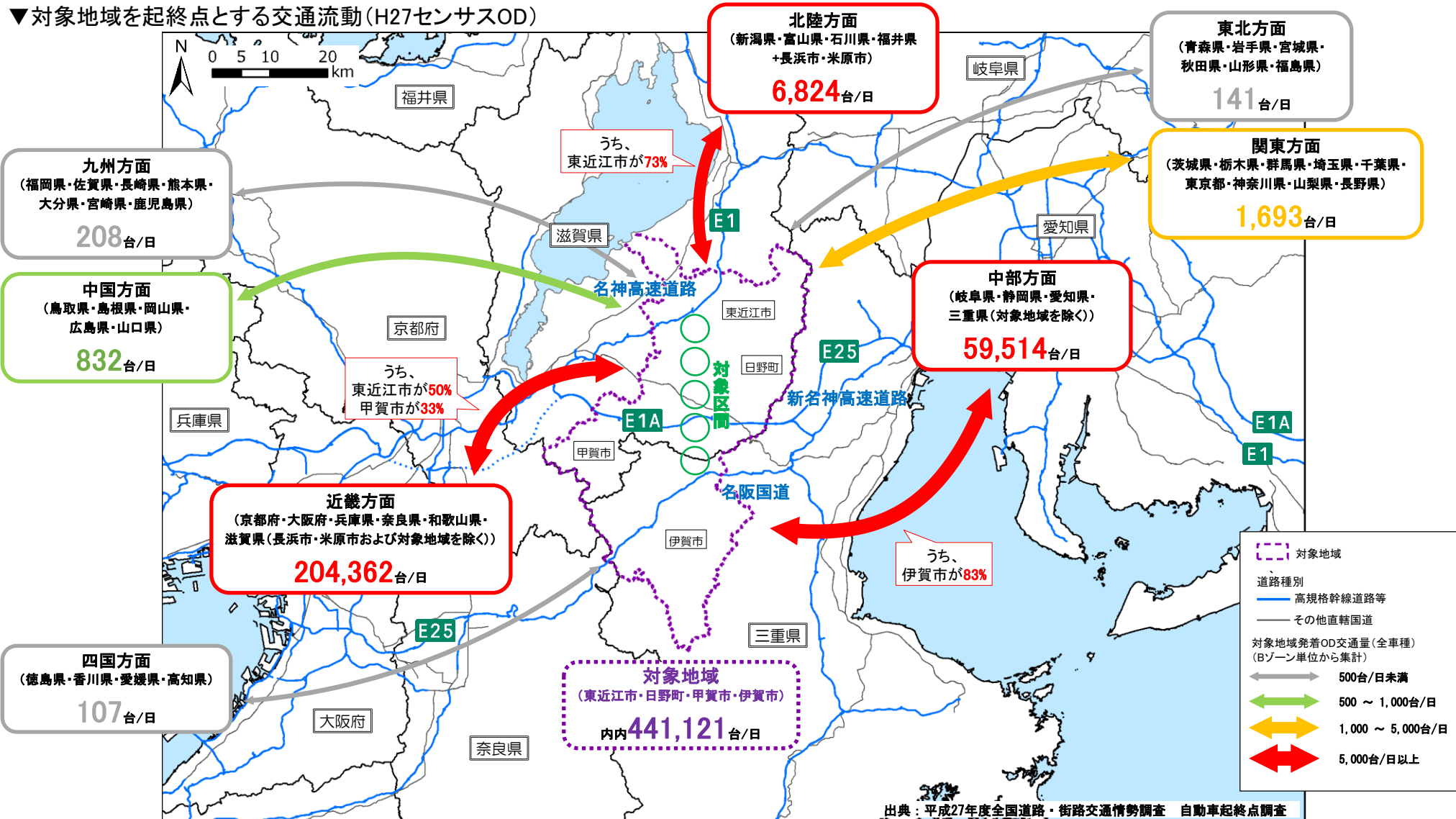
2. 早期の効果発現に向けた提案

- 第1回意見聴取の結果から、対象区間周辺の課題認識には、地域ごとに差異があることを把握できた。また、早期に整備してほしいとの意見が寄せられた。
- 対象区間は約30kmにおよぶことから、早期の効果発現のため、「優先区間」を設定し、計画の具体化を進めることが有効。
- 地域特性、道路交通状況の課題などを把握したうえで、特に課題が大きく緊急性が高い区間を、「優先区間」とすることを提案。

2-1. 地域特性（広域流動）

- ・対象地域を起終点とする交通量は、近畿方面が最も多く、中部方面、次いで北陸方面が多い。
- ・対象地域は、近畿圏、中部圏、北陸圏とつながりが強い地域である。

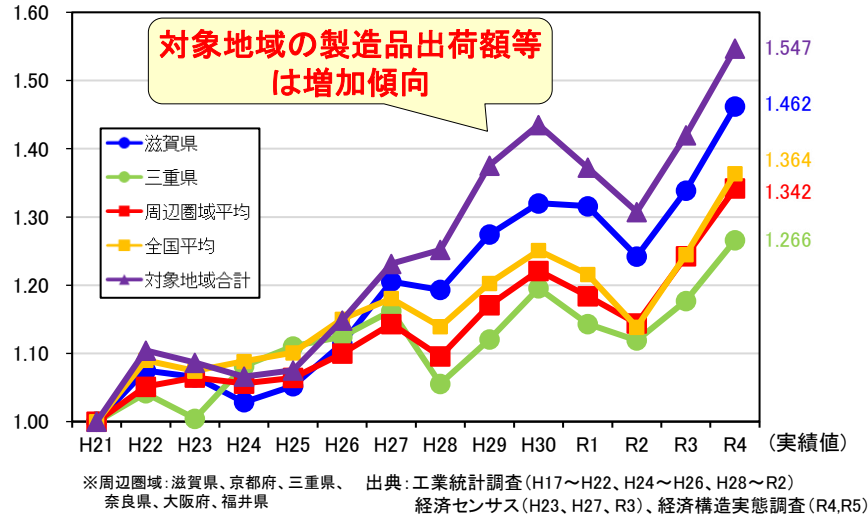
▼対象地域を起終点とする交通流動（H27センサスOD）



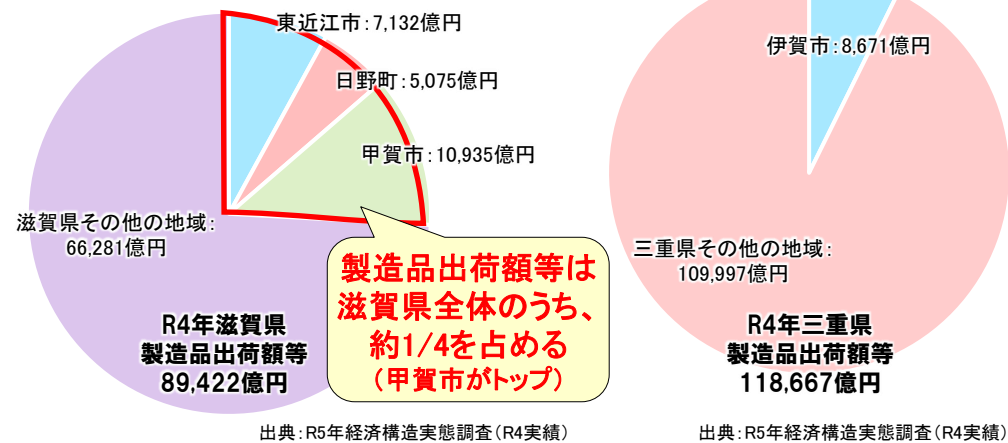
2-1. 地域特性（産業動向）

- ・滋賀県・三重県の製造品出荷額等は、近年増加傾向。対象地域も同様に増加傾向。
- ・対象地域の総生産における第2次産業の割合は非常に高く、全国値の2.4倍。地域の重要な産業となっている。
- ・滋賀県内における対象地域の製造品出荷額等は、県内の約1/4を占める。なかでも甲賀市の製造品出荷額等は、県内トップ。
- ・対象地域の製造品出荷額等は、全国でも上位の水準にあり、四日市市に匹敵する。

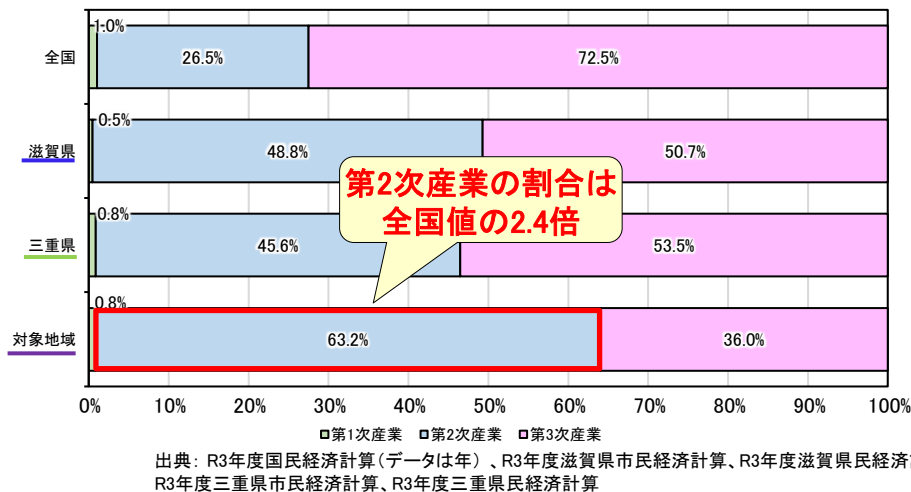
▼製造品出荷額等の伸び率（H21を1.0とした場合）



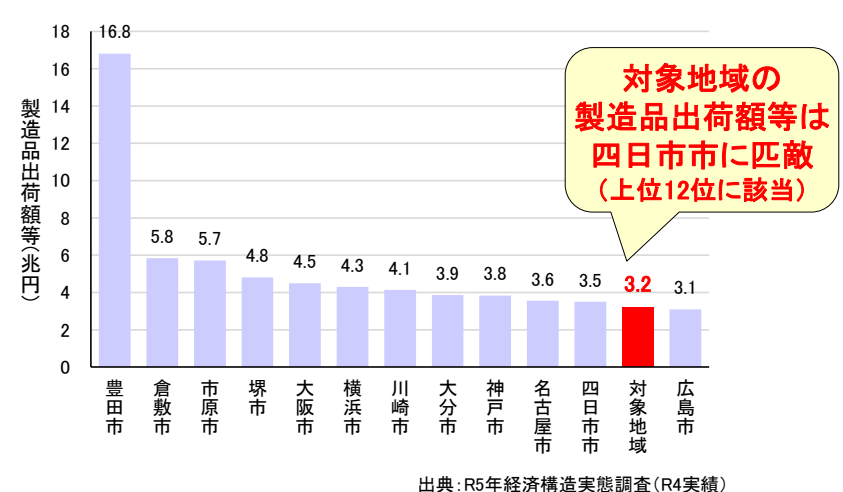
▼製造品出荷額等の割合



▼総生産における第2次産業の割合



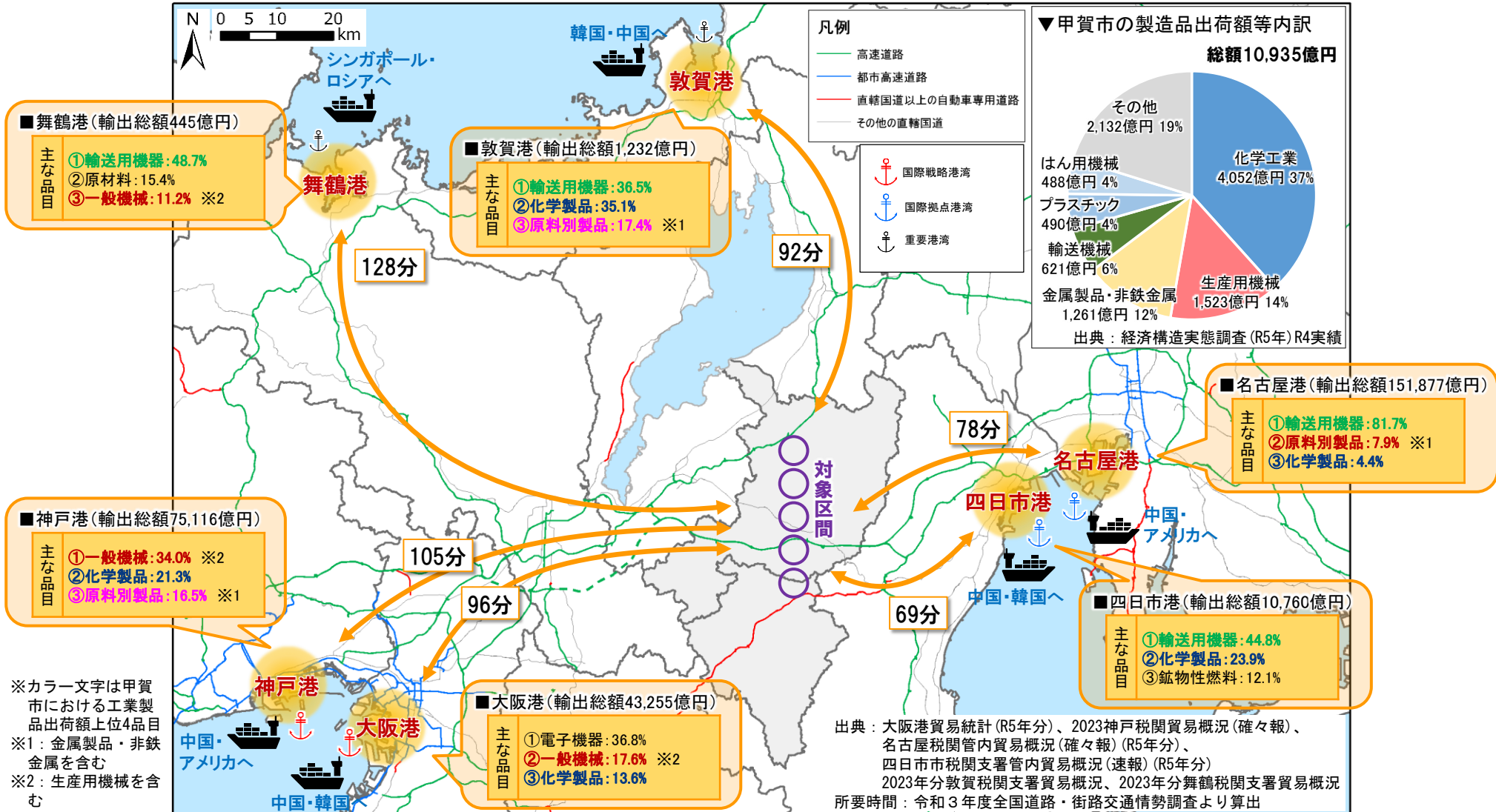
▼製造品出荷額等上位市町村



2-1. 地域特性（港湾物流の状況）

- 対象地域は、近畿・中部・北陸の重要港湾等へのアクセスが可能な場所に位置している。
- 特に、甲賀市は滋賀県内一の製造品出荷額等を誇るなど、対象地域では今後も輸出産業の発展が期待できる。

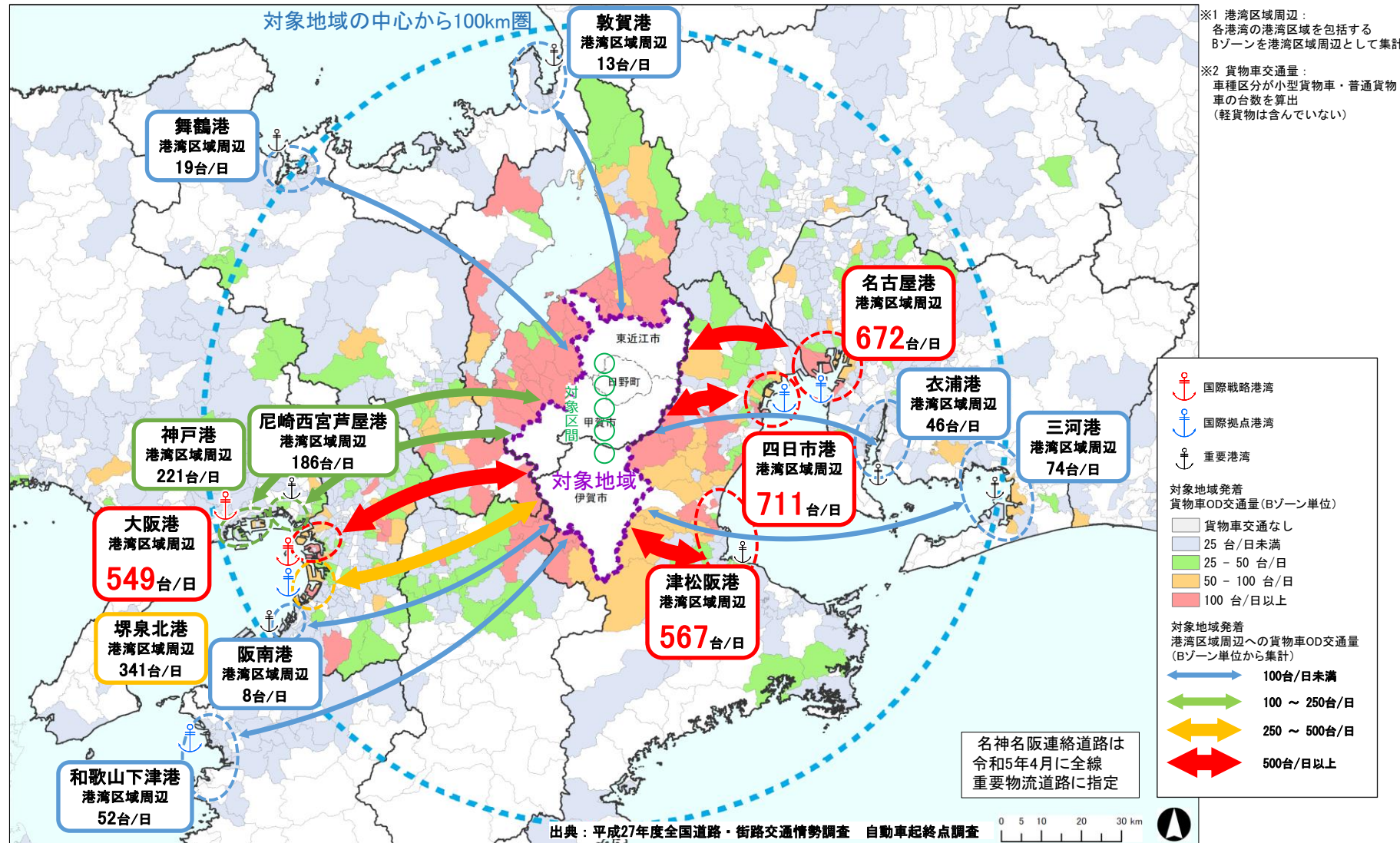
▼対象地域周辺の国際戦略港湾・国際拠点港湾・重要港湾



2-1. 地域特性（物流）

- 対象地域を起終点とする貨物車OD交通量は、周辺地域以外では、対象地域の中心から100km圏内にある国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾周辺との行き来が多い。
- 港湾区域周辺の貨物車OD交通量の合計では、四日市港が最も多く、次いで名古屋港、津松阪港、大阪港の順で多い。

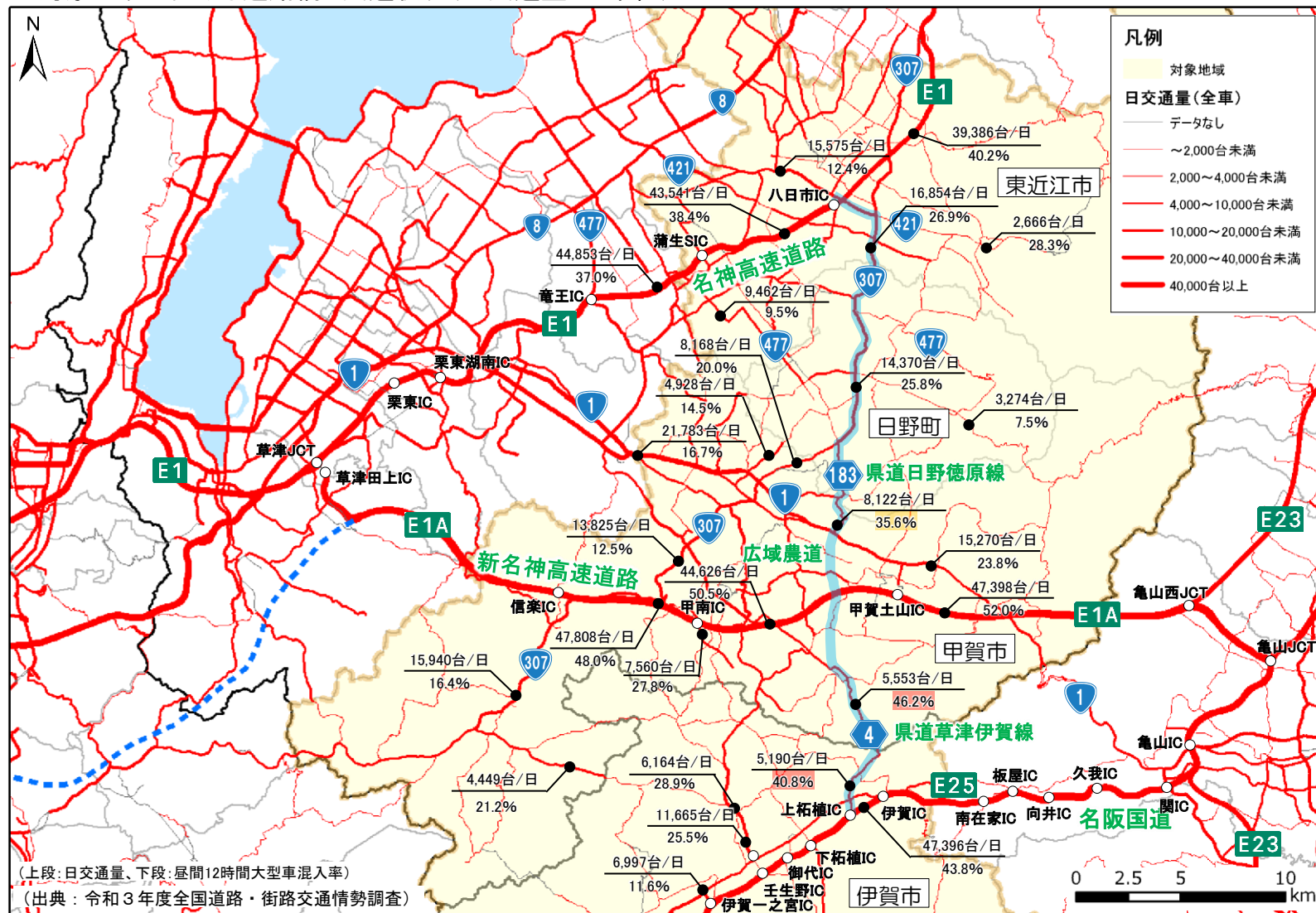
▼国際戦略港湾・国際拠点港湾・重要港湾区域周辺※1への貨物車※2センサスOD交通量



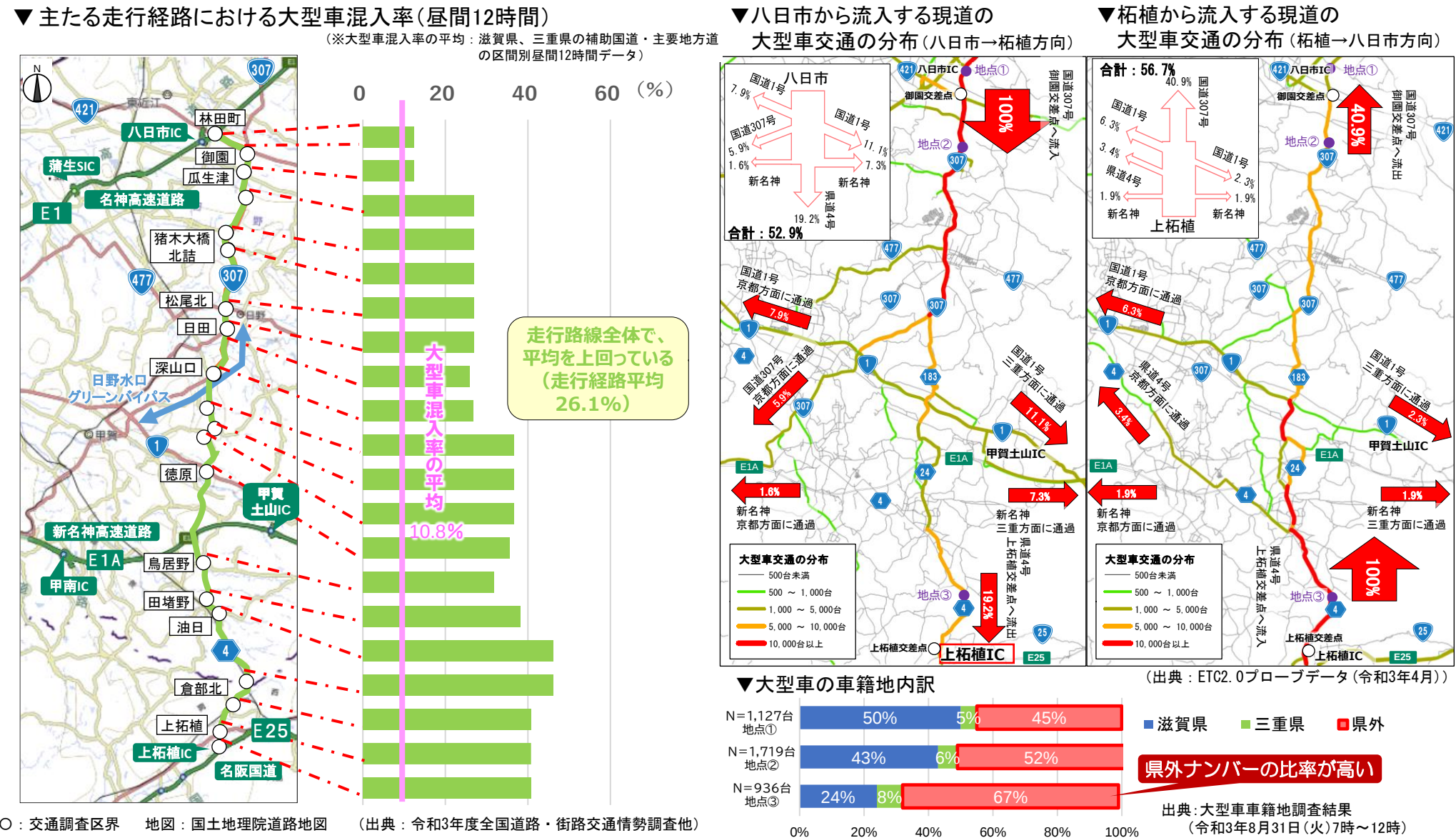
2-2. 対象地域の道路交通状況（日交通量）

- ・八日市IC～上柘植IC間の主たる走行経路は、国道307号～県道日野徳原線～広域農道～県道草津伊賀線となっている。
- ・甲賀・伊賀市域では、南北方向の幹線道路が無く、県道や広域農道を通行している。

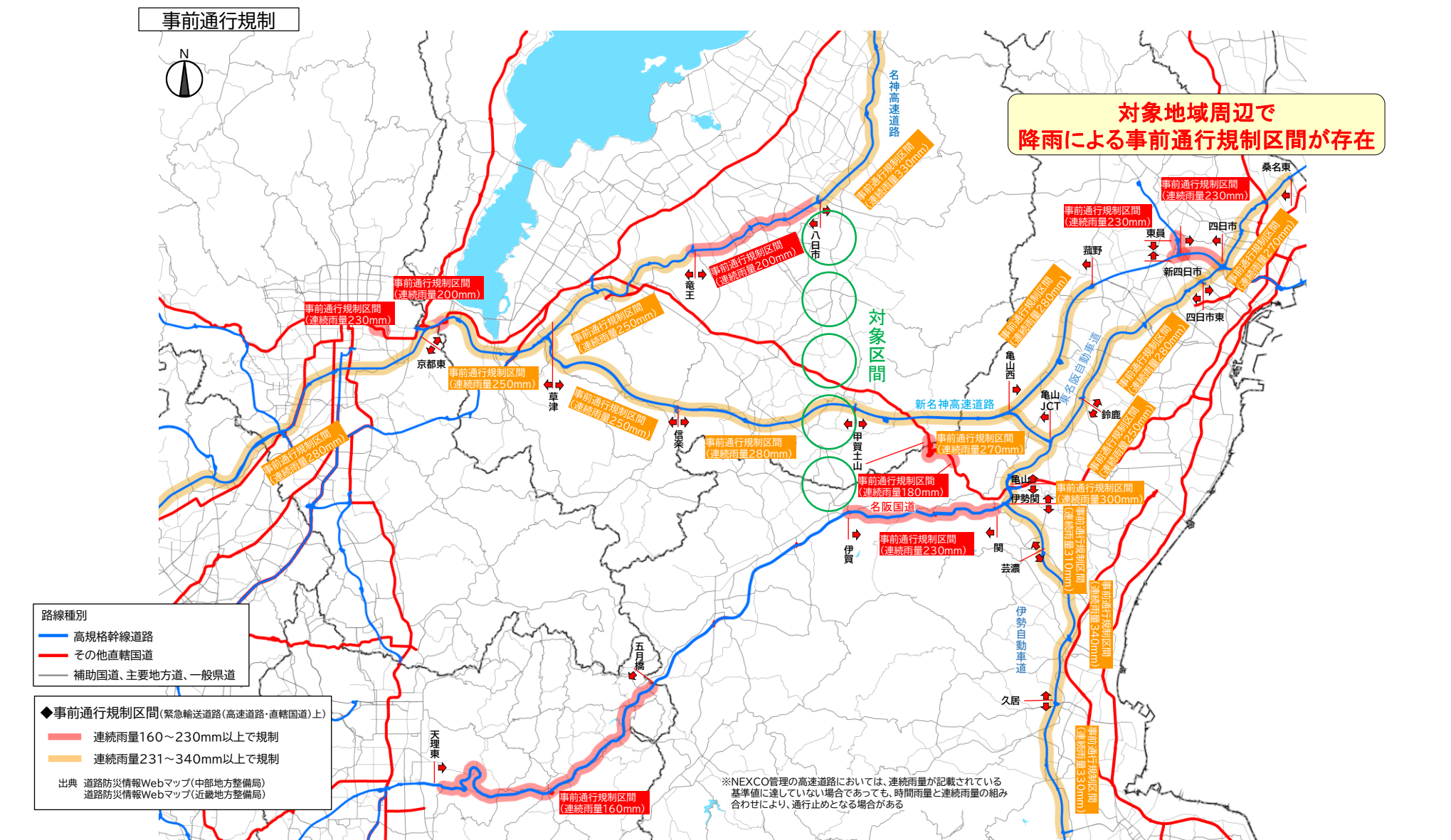
▼対象地域における道路網と交通状況（日交通量：全車種）



- ・対象地域における南北方向の主たる走行経路は、滋賀県・三重県内の補助国道・主要地方道に比べて大型車混入率が高い。
- ・大型車の車籍地内訳をみると、県外ナンバーの比率が高く、地点③では70%に迫る。

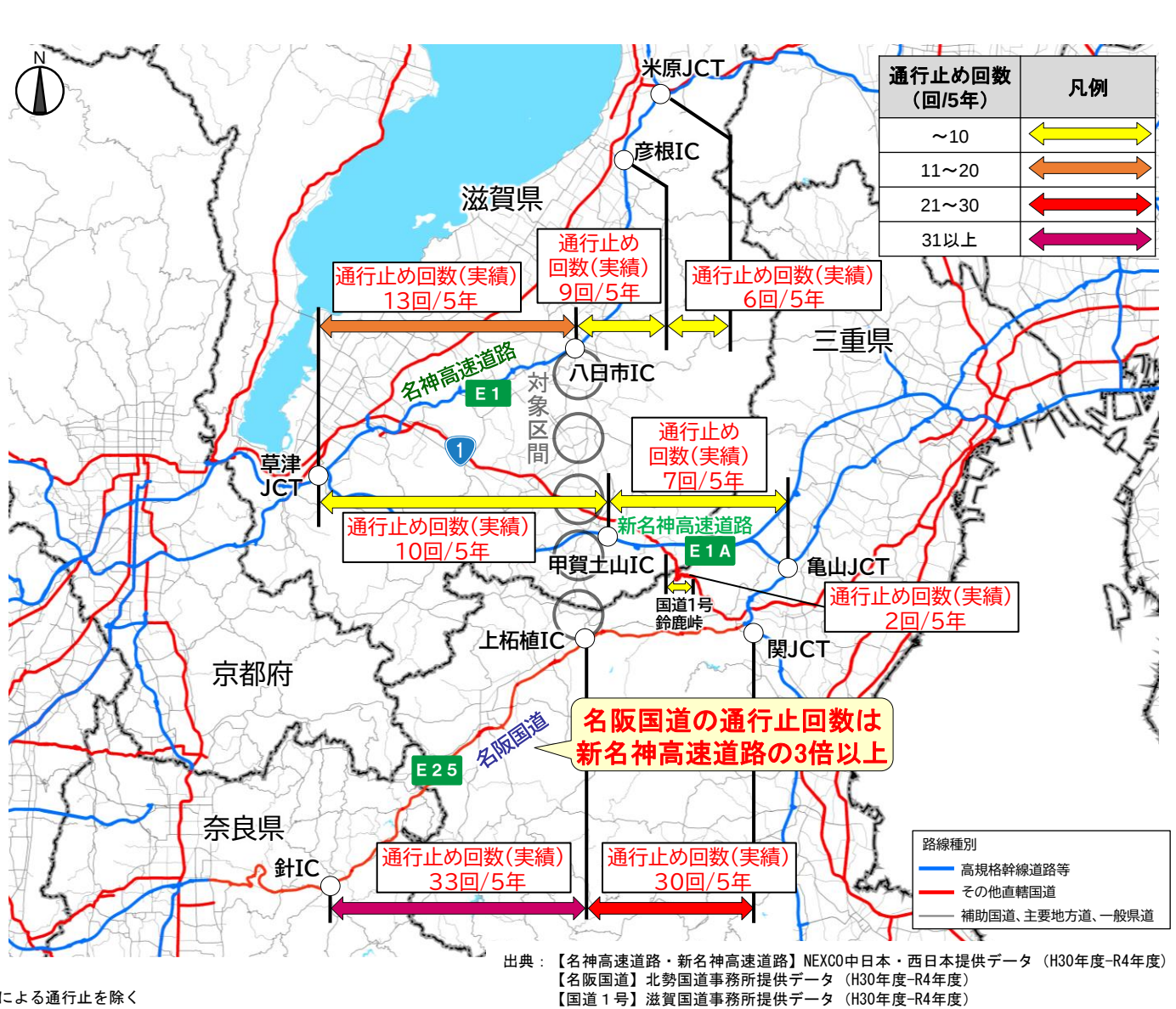
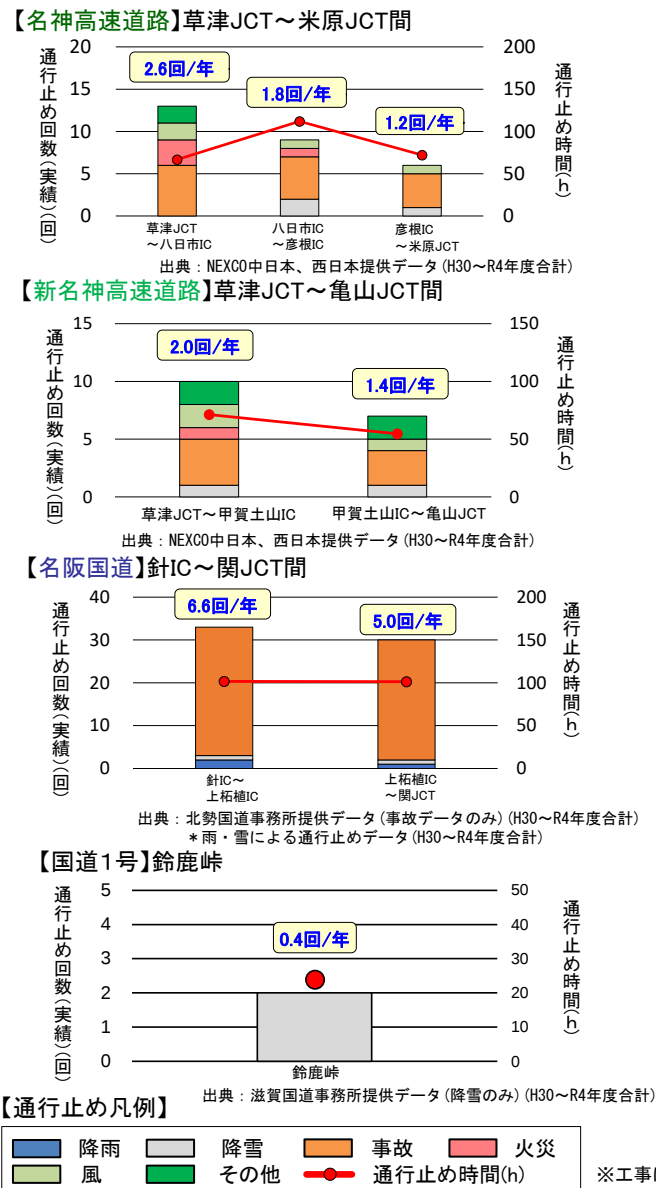


・対象地域周辺の高規格道路には事前通行規制区間が存在し、なかでも国道1号（鈴鹿峠）では連続雨量180mm以上、名阪国道（関IC～伊賀IC間）では連続雨量230mm以上で通行止めとなるなど、降雨時における迂回機能の不足が課題。



・名阪国道の通行止め回数(実績)は名神高速道路、新名神高速道路よりも多く、迂回路の必要性が高い。

▼名神高速道路・新名神高速道路・名阪国道・国道1号鈴鹿峠の通行止め回数(実績)



第1回有識者委員会以降での広域道路ネットワーク （高規格道路）を取り巻く事象・変化

日付	事象・変化等
R5.7.28	「第三次国土形成計画（全国計画）」閣議決定
R5.10.31	社会資本整備審議会 国土幹線道路部会 「高規格道路ネットワークのあり方中間とりまとめ」
〃	国土交通省道路局 「WISENET（ワイズネット）2050・政策集」
R6.1.1	能登半島地震
R6.6.28	令和6年能登半島地震を踏まえた緊急提言

- ・名神名阪連絡道路は、第三次国土形成計画（全国計画）における日本海国土軸・太平洋国土軸の二面活用に資する道路。
- ・また、高規格道路要件のうち「広域交流」「ネットワーク補完」に該当。

▼第三次国土形成計画

目指す国土の姿
「新時代に地域力をつなぐ国土」

国土全体にわたり地域力をつなぎ合わせ、未来へとつなげていく

地域力

地域課題を克服する守りの力

×

地域の魅力を高め人々を惹きつける攻めの力

地域力の結集し、目指す国土の形成を通じて

活力ある国土づくり
～地域への誇りと愛着に根差した地域価値の向上～

安全・安心な国土づくり
～災害等に屈しないしなやかで強い国土～

個性豊かな国土づくり
～森の国、海の国、文化の国～

地方への人の流れの創出・拡大

国土構造の基本構想
「シームレスな拠点連結型国土」

<①人口や諸機能の広域的な分散>
中核中核都市等を核とした**広域圏の自立的発展**

<②二面活用、内陸部を含めた全国の連結強化>
日本海側と太平洋側の二面を効果的に活用しつつ、内陸部を含めた連結を図る「**全国的な回廊ネットワーク**」の形成を図る

⇒活発なヒト・モノの流動によるイノベーションの促進

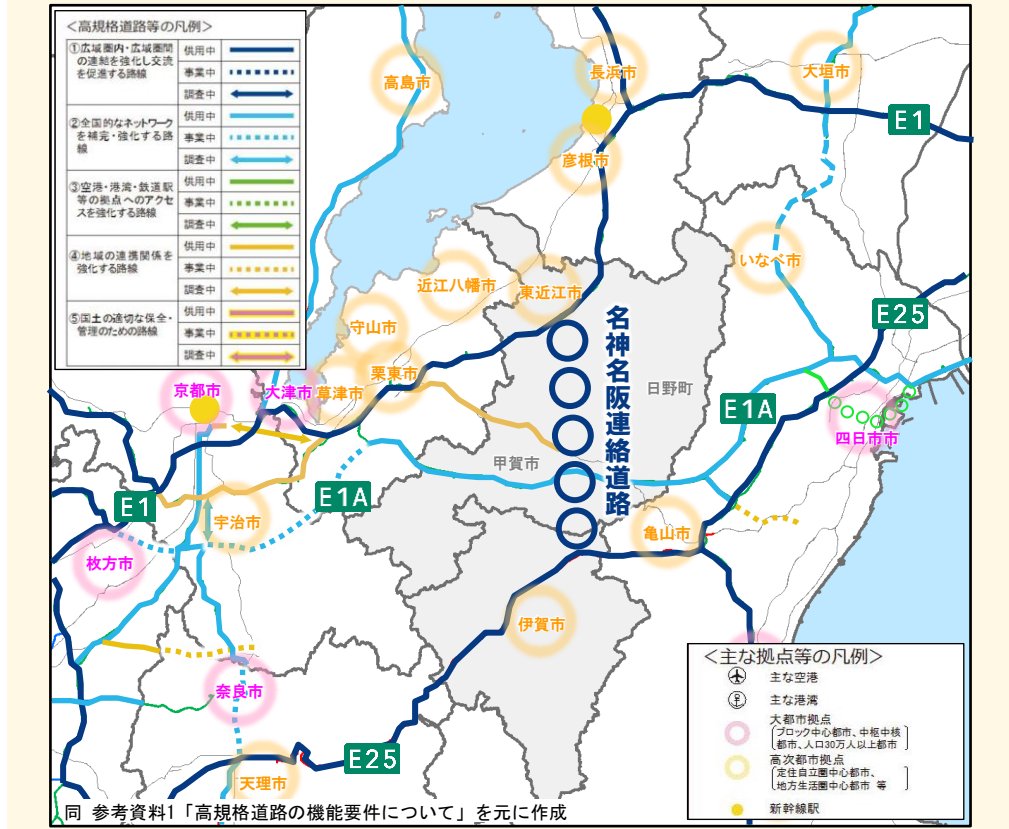
⇒災害時等のリダンダンシー確保

日本中央回廊の形成
リニア開業等による時間距離短縮等の効果を全国に波及

▼高規格道路要件の適合状況（名神名阪連絡道路の位置づけ）

路線名	起点	終点	高規格道路の機能要件				
			広域交流	NW補完	拠点アクセス	地域連携	国土保全
名神名阪連絡道路	東近江市	伊賀市	◎	●			

資料：第61回国土幹線道路部会（令和5年12月11日）
参考資料1「高規格道路の機能要件について」から抜粋



2-3. 高規格道路を取り巻く社会情勢（最近の状況）

- ・名神名阪連絡道路は、シームレスネットワークの一部を形成。
- ・日本海側と太平洋側を結ぶことで経済成長・国際競争力強化につながる強靱な物流ネットワークの一翼を担う道路。

▼WISENET2050

2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す

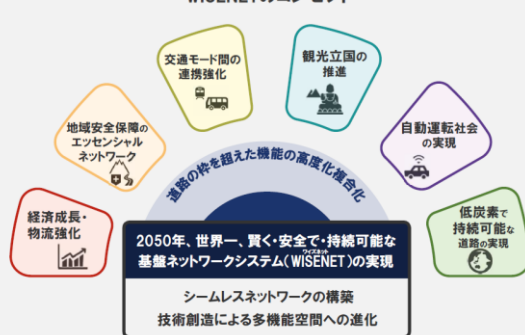
ワイズネット WISENET2050・政策集

経済成長と国土安全保障を実現するシームレスネットワークの構築



国土交通省道路局

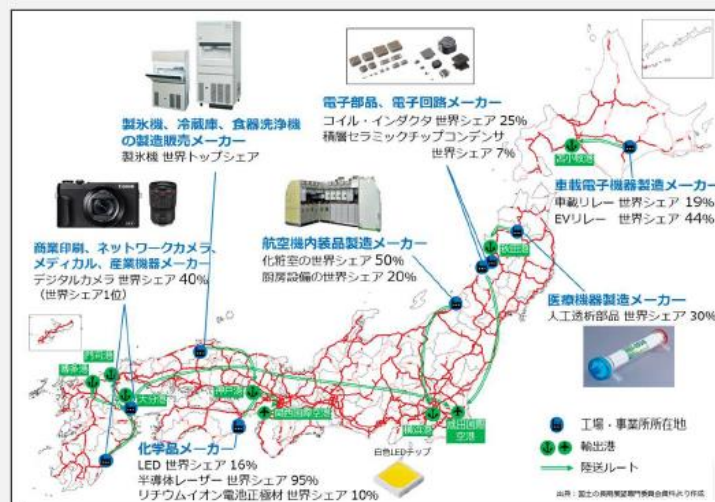
ワイズネット WISENETのコンセプト



経済成長・物流強化

国際競争力強化のため、三大都市圏環状道路、日本海側と太平洋側を結ぶ横断軸の強化など、強靱な物流ネットワークの構築を図ります。

全国に立地する世界シェア企業



農水産品の流れ(試算)

■ 高速道路
■ 一般道路
※ 線の太さが流動量を表す



WISENET2050・政策集」から抜粋

3. 今後の進め方（予定）

令和4年11月16日

第1回委員会

- 対象地域の概況、道路交通課題
- 政策目標、意見聴取方法、PIの進め方の方針決定

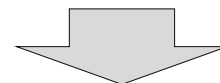


令和5年1月12日～2月19日

第1回地域の意見聴取

- ・沿線地域や企業等へのヒアリング、アンケート 等

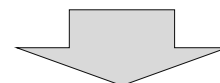
実施済み



令和6年11月20日

第2回委員会

- 第1回意見聴取の結果
- 早期の効果発現（優先区間設定）に向けた提案



次回以降委員会

- 地域・道路交通状況と課題、将来計画の整理
- 優先区間設定に向けた検討
- 意見聴取 等